

\*テニスの全豪オープンが始まりました。水栽培のヒヤシンスも咲きました。もうすぐ春ですね。

/// I N D E X ///

- ・ ISO 解説……………サーキュラーエコノミーと循環型社会の違い
- ・ 海外便り……………オーストラリアの COVID19
- ・ イベント報告……………(2021年2月4日) LCA 日本フォーラム：国際動向セミナー  
(2021年2月2日と3日) LCAF の LCA 初級研修  
(2021年2月5日) 産総研 LCA 活用コンソシアムの講習会
- ・ 皆様から……………賛同会員様の近況
- ・ LCAF からお知らせ…初級検定2月20日(土)11:00
- ・ 編集後記……………全豪オープンとスーパーボール

■■ ISO 解説：サーキュラーエコノミーと循環型社会の違い ■■

○前号で、1月に行われた TC323 (サーキュラーエコノミー) のオンライン総会の様子を報告しました。メール会員から「サーキュラーエコノミーと循環型社会はどう違うのですか？」という質問を頂きました。基本の説明が足りなかったですね。

私もサーキュラーエコノミーが出てきた時は、最初は「循環型社会形成」と同じじゃないかと思っていました。しかし、どうやら大きな違いがあるようです。

循環型社会形成の目的は、基本的には「ごみの削減」です。よく知られている「3R」はごみを減らすための具体的な方法です。

欧州からの TC323 のエキスパートには、サーキュラーエコノミーは「循環することが目的だ」と考えている人達があります。こういう人達にとっては、ごみ処理が必要ない社会にすることが目的です。ごみが減るのはサーキュラーエコノミーの結果にすぎません。

それで、こういう人達は、「この規格には、ごみ処理の方法を含まないようにしよう」と考えます。たとえば、廃プラスチックは元通りにリサイクルしなければならないので、廃プラスチックの燃焼とそれによるエネルギー回収はこの規格の範囲外(やっではないけな)と考えているようです。

それに対して、完全にリサイクルすることは技術的にもエネルギー及び環境的にも実際的には無く、最終的なごみ処理が必要だと考えている人達もいます。この人達にとっては、廃プラスチックのエネルギー回収は必然的なことで、この新しい規格でもそれを許容するようにしたいと考えています。

この両者の考え方は大きな違いで、現在のところ歩み寄りの兆しが見えません。TC323 の議論がちっとも進まない原因になっています。

■■ 海外だより：オーストラリアの COVID19 ■■

2008年頃にカーボンフットプリントの国際標準規格を作成する作業で一緒だったオーストラリアの友人から届きました。オーストラリアはコロナを封じ込めたようです。

Australia is in a very different position from many of these other countries. At present (7 February 2021) Australia has had no new infections for a few days, and our average new infections over the last three months has been about 15 people per day. Total per-capita deaths since the start of the pandemic are about 40 times lower than in the USA, and about 45 times lower than that recorded in the UK. There are very few restrictions on parties or crowds, masks are optional (an not seen that often)...other than having worked from home for the last 10 months, life is continuing pretty much as normal. The big difference is that there is effectively no international travel (in or out), and there can be restrictions on travel within Australia when cases appear.

(オーストラリアは他の国とかなり違っています。2月7日(日)現在、ここ数日新規感染者が出ていません。過去3ヶ月は一日15人程度でした。パンデミックが始まってからの人口あたりの死者

数は、アメリカの(1/40)、イギリスの(1/45)程度です。パーティーなどの制約もあまりなく、マスクもオプションです（あまり見かけません）。過去 10 ヶ月はリモートワークでしたが、生活はかなり普通です。実際上の大きな違いは海外旅行（インバウンドもアウトバウンドも）できないことです。オーストラリアの中でも新規感染者が出たところへの移動は制約されています。）

## ■■ イベント報告 ■■

### ○LCA 日本フォーラム：国際動向セミナー：2021年2月4日

東京大学公共政策大学院の有馬純先生、みずほ情報総研古島さんの講演に続いて、カーボンニュートラリティ、環境ファイナンス関係、並びにサーキュラーエコノミーの国際標準規格作成の状況を、事務局を務めている産業環境管理協会のご担当の皆さんに話して頂きました。私は、最後のパネルの司会をしました。上記のそれぞれの国内委員会の委員長である、中村崇先生、松橋隆治先生、工藤拓毅先生とのパネルでした。ISO の活動についての皆さんの考え方が聞けて良かったと好評判だったようです。安心しました。<<https://www.lca-forum.org/seminar/>>

### ○LCAF の LCA 初級研修：2021年2月2日と3日

31人の参加者の皆さんと勉強しました。いろいろな質問も頂きました。次回は連休明けくらいに実施したいです。

### ○産総研 LCA 活用コンソシアムの講習会：2021年2月5日

ESG 投資について、株式会社大和総研の田中大介さんに聞きました。評価される方としては、温暖化への対策を表明することが重要だということと理解しました。

## ■■ 皆様から：賛同会員様の近況 ■■

### ○賛同会員[TCO2：正島さん]

TCO2では、コロナ禍の状況の中、社員全員ほぼ完全な在宅体制で仕事をさせていただいておりますが、移動時間の節約、リラックスできる仕事環境といったメリットがデメリットを大幅に上回り、印鑑・原本文化でペーパーワークが集中してしまう社長以外は、社員の生産性は確実に向上しているのではないかと感じています。また、海外との打ち合わせもオンラインでより頻繁に行われるようになり、急速にグローバルにフラット化していく社会の到来を感じています。一方で、オンラインで打ち合わせがスムーズに行える背景としては、画面の向こうの相手を「信用」できているということが前提条件にあることから、その重要性についても再認識しているところです。

### ○賛同会員[みずほ情報総研：古島さん]

仕事の方は、菅総理の“実質ゼロ”表明を受けて、コロナ禍にも関わらず追い風傾向です。ただ、これもコロナ禍の影響で、今年度は官公庁の業務の立ち上がりが遅れ気味だったため、年度末に向けてそのしわ寄せが来ている感じです。日常はと言うと、緊急事態宣言の再発令を受けて再び在宅勤務中心の生活になりました。この冬はととても寒いので、手の届くところに保温ポットとみかんの山を置き、居間のコタツに居座って仕事に励んでおります。週末の外出もちょっとした買い物と散歩をするくらいですね…。

## ■■ LCAF からののお知らせ（再掲です） ■■

### ○第1回 LCAF：LCA 初級検定試験

LCA に関する基礎的知識を有していることを確認する試験を 2021年2月20日（土）に実施します。受験資格に特に制限はありません。また、持ち込み制限はありません。詳細は LCAF ホームページ<<https://lcaf.or.jp/>>でご案内しています。

## ■■ 編集後記 ■■

○テニスの全豪オープンで錦織選手が1回戦で負けてしまいました。飛行機とホテルでコロナの新しい患者が出たので待機命令が出たそうです。この号で紹介した情報では、オーストラリアの1日の新規感染者は15人程度だといわれています。メルボルンに集中しているのでしょうか？ それにしても、コロナ禍の中でのスポーツ大会の運営の難しさを感じます。東京オリンピックはどのように運営するのでしょうか？ もっとも、もっと基本的なことで東京オリンピックの開催が危う

くなっているようですが。。。

○全豪オープンのニュースと同じ日にアメリカンフットボールのスーパーボールがありました。タンパベイ・バッカニアーズが大差で勝ちましたね。1984年から約2年ですが、ワシントン DC の近郊の研究所（今は NIST と言います）で働いていた頃を思い出しました。週末にテレビでアメリカンフットボールを見るのが唯一の楽しみでした。住宅の近くに「モール」と言う大規模商業施設があって、スーパーや映画館もありました。帰国してしばらくしたら「○○モール」というのが日本にもできたと聞いてびっくりしましたが、今ではどこの町にもあるようです。アメリカンフットボールも野球もプレーが継続しないので、ポテチを食べながらビールを飲むのに最適です。ちょっと目を離すとどうなっているかわからないサッカーとは違いますね。アメリカの国民性でしょうか？ でも、バスケットもアイスホッケーも人気がありますね。

○家の中ですが、水栽培の黄色いヒヤシンスが咲きました。赤いアザレアも咲きました。外では白い水仙が咲いています。もうすぐ春ですね。スキーはあきらめて、梅林の散歩とイチゴ狩りに行くことを計画します。

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

-----  
ご意見,ご感想,本メールマガジンの解除のご連絡はこちらまで  
lcaf-contact@lcaf.or.jp

-----  
一般社団法人 日本 LCA 推進機構  
Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)  
(エルカフと呼んで (読んで) ください)  
〒71-0014 東京都豊島区池袋 2-36-1  
インフィニティ池袋 8F52  
電子メール : lcaf-contact@lcaf.or.jp  
URL:https://lcaf.or.jp/